

竜の覚醒 (カゲプロ&ワンピース ス&MH)

シュウスケ

アザミのミスで、ワンピースの世界に
来てしまったシンタロー達

それぞれ新しい能力を手にいれ

大海原を仲間と冒険する！！！！

作者的に妄想爆発＼(v^v^)/ or z

目次

プ
ロ
ロ
グ

プロローグ

シンタローサイド

シ「おい、アザミ、これはドューコトダ」

カ「なんで別の世界に飛んでんのさ！」

ア「・・・すまん」

セ「元の世界には戻れるっすか」

ア「・・・すまん、今は無理だ。私しか戻れない」

シ、セ、カ「は、はあああああああ　　三三三」

　　30分前

シ、セ、カ「暇だ　／＼すねだよ」

セ「どうするっすか？　する事無さすぎっす」

シ「とにかく暇だな、他のやつらも出かけたし」

カ「僕らも起こして皆で行けば良いのに
なんかないかな」

そう、とにかく暇だったのだ。

する事やること為すこと何もなく

アジトのリビングでぼーっとしてた。

で、ぼーっとしてたらいきなり出てきた。

ア「おい、小僧」

シ「うわあああああ !! ど、どっから出てきた！」

ア「玄関から」

シ「あいつら戸締まりしろよ 三」

セ「で、アザミさんはどうして来たっすか」

ア「凝らしてみたら暇そうだったもんでな、来てみた」

シ「どんだけ隙だ」

カ「アザミ、カゲロウデイズで遊ばせてよ」

セ「いいっすね！」 シ「ナイスだカノ！」

俺とセトは同時に親指を立てる。

が、アザミは少し迷っている。

シ「どうしたんだよ？」

ア「最近カゲロウデイズの中が不安定なんだ
今は大丈夫だが、まあ保障してやる」

カ「よし、じゃあいこうか
ww」

シ「セ「イエーイー!!」

で、行ったら別世界でした(↑イマココ！)

カ「なんで無理なのさ」

ア「一度開いたせいでバランスが崩れたのだ」

セ「どれくらい難しいっすか？」

ア「宇宙服を着ずに宇宙に行くくらいだな」

カ「なんなのさその例え!!」

戻れるようになるにはどのくらいかかるの？」

ア「数年・・・いや、十数年・・・」

シ「長えんだよ！ここはなんの世界だよ」

ア「海賊と海軍がいる、冒険する世界だな

悪魔の実っと言うのがあるらしい

食べたらかナヅチになるらしいがな」

セ「海賊してみたいっす！」

シ「じゃあ、元の世界に戻るようになるまで

俺ら海賊でもしてるか」

セ、カ「OK（っす）」

ア「ならば、お主らにプレゼントだな」

アザミは、赤黒灰色のバナナみたいなのを出した。

カ「何この果実」ア「悪魔の実だが」

シ、セ、カ「「はあ　!?」」

ア「凝らすと盗むでな、ドラドラの実と言う

動物（ゾオン）系のものだ」

セ「ドラドラってドラゴンっすか！」

カ「カッコいいだろうな」

ア「あと、この世界での名前を考えておけ」

シ「サンキュー!!」

ア「醒めるで身体もコノハ並にしておいたし
歳も3歳若く為っているぞ」

カ「身体の強化の意味は解るけど

若くしたのはなんで？」

ア「気まぐれだ」 全「「最悪………」」

ア「モデルがなんなのかは食べたら

分かるだろう、後は頑張れ」

カ「最後適当……」

ア「私は戻って、事情を説明したりするからな」

セ「わかったっす！」

ア「じゃあまた」

アザミは蛇に入って行った。

シ「とりあえず今日から頑張ろうぜ !!」

カセ「おーーーーー三」

駄文ですいません

もっと面白いものになるようにします！

竜の覚醒 (カゲプロ&ワンピース &MH)

著者 シュウスケ

発行日 2021 年 3 月 24 日

ハーメルン -SS・小説投稿サイト-

<https://syosetu.org/novel/160170/>

本書の内容を無許可で転載・複写・複製することは、禁じられております。